

夏 号

第145号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)甲府交通安全協会
鰐沢交通安全協会
塩山交通安全協会南甲府交通安全協会
南部交通安全協会
都留交通安全協会小笠原交通安全協会
市川交通安全協会
富士吉田交通安全協会華崎交通安全協会
石和交通安全協会
大月交通安全協会長坂交通安全協会
日下部交通安全協会
上野原交通安全協会自動車安全運転センター山梨県事務所
山梨県自動車販売店協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会

社団法人・日本自動車連盟山梨支部

山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会

社団法人・山梨県自動車整備振興会

山梨県バス協会

山梨県軽自動車協会



守ろう子供と高齢者 やめよう無謀運転

夏の交通事故防止県民運動 7月21日から8月20日



高齢者に交通事故防止用の反射材の着け方を指導する小笠原安協の役員ら

=南アルプス市の白根B & G海洋センター・スパーク白根

交通安全カレンダー

6月	4月	1月	9月	10月	12月
二輪車安全運転山梨県大会	交通安全子供自転車山梨県大会	春の全国交通安全運動	夏の交通事故防止県民運動	秋の全国交通安全運動	年末の交通事故防止県民運動
6月	4月	1月	9月	10月	12月
平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年
7月21日～8月20日					

夏の交通事故防止県民運動は、県民一人ひとりが交通安全や他人に迷惑をかけない運転を励行し、安全で快適な車社会の実現をめざすために行われるものです。運動の重点は①高齢者と子供の交通事故防止②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底③若者による無謀運転及び暴走族の追放④飲酒運転の絶滅です。山梨県交通安全協会では、関係機関・団体と連携して、地域に密着した交通安全活動を繰り広げ、交通安全の大切さを呼び掛けます。

内容紹介

- 2面 理事・評議員会と平成14年度事業報告
3面 子供自転車・二輪車安全運転県大会
4、5、6面 各地区安協の活動
- 7面 地域交通安全活動推進委員を委嘱
8面 協賛5団体の交通安全活動

交通事故の中で、交渉社会の中でも、快適な生活を送ることは、すべての人の願いです。しかし、前年と比較すると死者はマイナス二十六人と大幅に減少しましたが、件数、負傷者ともに増加し、特に負傷者は統計史上初めて一万人を上回り、依然として厳しい交通情勢が続いています。これらの交通事故の発生原因を見ますと、前方不注意が二千七百三十三件、動静不注意が六百二十三件、安全不確認が一千百四十七件で、三つを合わせると五千四百八十三件と、全体の72・7%を占めています。これらの大半は、道路交通法七十一条の安全運転義務違反となる運転で、居眠り運転、わき見運転、携帯電話をかけながらの運転、考え方をしながらの運転など、いわゆる漫然運転に起因する事故です。漫然運転は実験結果からも、いざと運転など、いわゆる漫然運転に起因する事故です。漫然運転は常に気を引き締め、気持ちは常に気を引き締め、気持ちを運転に集中させて運転することが大切ではないでしょうか。事故の多くが、運転者のほんのわずかな不注意により発生し、予期しない悲劇を生んでいることに思いをいたし、常に集中運転に心がけることとともに、「安全の原点」を理解しルールを守り、思いやりと優しさに支えられた運転をすることが、大切なことです。はないかと思います。



平成十四年中の山梨県内の交通事故は、発生件数七千五百三十四件、死者七十一人、負傷者一万百十二人で、前年と比較すると死者はマイナス二十六人と大幅に減少しましたが、件数、負傷者ともに増加し、特に負傷者は統計史上初めて一万人を上回り、依然として厳しい交通情勢が続いています。これらの交通事故の発生原因を見ますと、前方不注意が二千七百三十三件、動静不注意が六百二十三件、安全不確認が一千百四十七件で、三つを合わせると五千四百八十三件と、全体の72・7%を占めています。これらの大半は、道路交通法七十一条の安全運転義務違反となる運転で、居眠り運転、わき見運転、携帯電話をかけながらの運転など、いわゆる漫然運転に起因する事故です。漫然運転は実験結果からも、いざと運転など、いわゆる漫然運転に起因する事故です。漫然運転は常に気を引き締め、気持ちは常に気を引き締め、気持ちを運転に集中させて運転することが大切ではないでしょうか。事故の多くが、運転者のほんのわずかな不注意により発生し、予期しない悲劇を生んでいることに思いをいたし、常に集中運転に心がけることとともに、「安全の原点」を理解しルールを守り、思いやりと優しさに支えられた運転をすることが、大切なことです。はないかと思います。

地域に根ざした活動推進

県安協が理事・評議員会

平成14年度事業・決算を承認



平成14年度の事業・決算を承認した県交通安全協会の理事・評議員会
=甲府・ザ・ホテル紫玉苑



県内から「功労者」13人

関東安協連合会が表彰式

関東安協連合会の表彰を受けた県内の関係者
=さいたま市・ロイヤルパインズホテル

県内から「功労者」13人

関東安協連合会が表彰式

財団法人山梨県交通安全協会は、6月4日、甲府市のザ・ホテル紫玉苑で理事・評議員会を開きました。

はじめに山下道男副会長が、「交通を取り巻く環境は年々厳しくなっており、交通安全活動も多種多様化が求められる今、地域に根ざした活動を推進していきたい」とあいさつして議事に入りました。

議事では、平成十四年度の事業報告や収支決算報告が行つて議事に入りました。

会長によると、地域に根ざした活動を推進していくことを確認しました。

受賞した人たちは長年にわたり交通安全のために献身的個人と団体です。関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長による表彰とともに、交通安全功労者の夫人には関東安協連合会長から感謝状が贈られました。

山梨県関係の受賞者は、次

長年の献身的活動たたえる

関東交通安全協会連合会

▽交通安全功労者と夫人

（那須翔会長）は5月23日、埼玉県さいたま市のロイヤルパインズホテルで交通安全功労者などの表彰式を開催しました。

受賞した人たちは長年にわたり交通安全のために献身的個人と団体です。関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長による表彰とともに、交通安全功労者の夫人には関東安協連合会長から感謝状が贈られました。

▽優良交通安全協会 菊崎

田博夫会長）

△交通安全部門 岩井

美知子（県安協）

横瀬

美知子（県安協）

△優良交通安全協会 菊崎

田博夫会長）

△優良交通安全協会 菊崎



自動車の発達に伴って人間が享受した便利さや快適さといった恩恵については万人が認めるところでもありますが、その反面「走る凶器」などとも言われるようになります。まさに運転免許は日常生活に欠くことのできない必需品とも言えます。

自動車の運転には、安全のために必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

です。

交通事故は車が起こそではないが、必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

初心に戻つて安全運転を

県警運転免許課長 望月 政明



平成十五年五月末における山梨県の運転免許保有者は、五十七万五千三十八人で県民の一・五四人に一人が運転免許を保有してお

り、全国的に見ますと群馬県、栃木県、長野県に次いで全国第四位の高い保有率となっています。

まさに運転免許は日常生活に欠くことのできない必需品とも言えます。

自動車の運転には、安全のために必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

です。

交通事故は車が起こそではないが、必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

です。

交通事故は車が起こそではないが、必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

交通事故は車が起こそではないが、必ず守らなければならないルールがあります。これらを守ることで、交通事故を防ぐことができます。しかし、運転にはリスクがあります。そのため、運転する前に必ず安全確認を行ってください。

高根東小Aが団体優勝

小瀬で交通安全子供自転車県大会

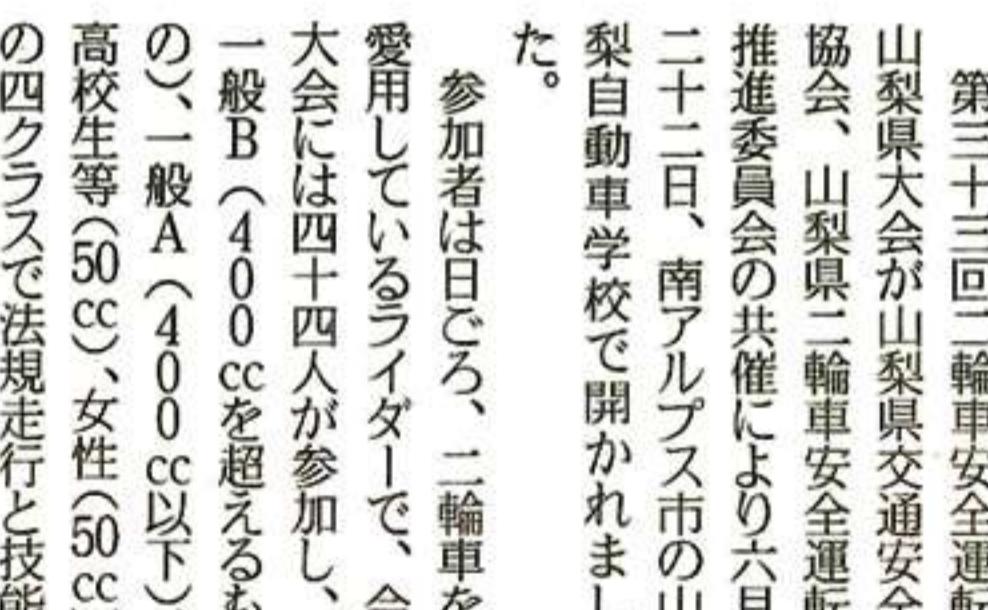
個人部門は 土屋沙紀さん 高得点者に優秀・努力賞



11校70人の小学生が知識と技術を競った交通安全子供自転車山梨県大会 =甲府・小瀬スポーツ公園



二輪車の走行技能を競うライダーたち =南アルプス市の山梨自動車学校



第三十三回二輪車安全運転大会 山梨県大会が山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全運転推進委員会の共催により六月二十一日、南アルプス市の山梨自動車学校で開かれました。

参加者は日ごろ、二輪車を愛用しているライダーで、今大会には四十四人が参加し、一般B(400ccを超えるもの)、一般A(400cc以下)、高校生等(50cc)、女性(50cc)の四クラスで法規走行と技能

新入生対象に原付運転講習

山梨園芸高校



原付バイクの運転講習を受けた1年生たち =山梨園芸高校

山梨園芸高校は県交通安全協会と県二輪車安全推進委員会の協力で、一年生に対する原付バイクの運転講習を実施

い四月十一日から十七日にかけ、クラス単位で計四回行いました。二輪車安全推進委員会の指導員による約百分間の講習で、ほぼ全員がある程度の運転技術を習得しました。

今年の講習会は入学間もない四月十一日から十七日にかけ、クラス単位で計四回行いました。二輪車安全推進委員会の指導員による約百分間の講習で、ほぼ全員が一定程度の運転技術を習得しました。

同校交通指導担当の熊谷栄一先生は「生徒の習得力の高さに驚かされました。今回の講習をステップに今後は授業の中で正しい技術と心を育てたい」と話していました。

第三十四回交通安全子供自転車山梨県大会が県交通安全協会と県警察本部の共催で六月八日、甲府・小瀬スポーツ公園体育館で開かれました。

大会は、小学生に対する自転車の安全教育の効果を高めることを目的に毎年開かれています。県内各地区的代表十

一校十四チーム七十人の選手が参加して、学科六百点、実

本部長・県安協会長賞、知事賞

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 増穂小△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 奥野田小△東小B△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 豊小△6位 下吉田△7位 東小A△7位 上野小△8位 七保小△9位 下吉田東小△10位 富士見小

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 土屋沙紀△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 浅川夏輝△優秀賞(学科) 近藤未沙

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 井澤亮△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 齋藤梓△優秀賞(学科) 井澤亮△優秀賞(学科) 近藤未沙

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 齋藤皓△優秀賞(学科) 井澤亮△優秀賞(学科) 近藤未沙

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 井澤亮△優秀賞(学科) 近藤未沙

五百点、合計千百点から減点方式で競いました。

この結果、団体部門では高根東小Aが団体優勝となりました。

個人部門では高根東小Aが優勝しました。学科、実技ともに高得点者が多く、高得点者には優秀賞と努力賞を贈りました。

高根東小Aの土屋沙紀さんが優勝しました。学科、実技ともに高得点者が多く、高得点者には優秀賞と努力賞を贈りました。

大会は、小学生に対する自転車の安全教育の効果を高めることを目的に毎年開かれています。県内各地区的代表十

一校十四チーム七十人の選手が参加して、学科六百点、実

本部長・県安協会長賞、知事賞

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 増穂小△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 奥野田小△東小B△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 豊小△6位 下吉田△7位 東小A△7位 上野小△8位 七保小△9位 下吉田東小△10位 富士見小

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 土屋沙紀△準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 浅川夏輝△優秀賞(学科) 近藤未沙

△優勝(県警本部長・県安協会長賞) 井澤亮△優秀賞(学科) 近藤未沙

連携の輪 夏ヘリレー



無事故の願いを込めて風船を飛ばす園児たち

「無事故続け」風船に願い 石和

石和交通安全協会(杉田睦彦会長)管内の境川村では、交通死亡事故が平成九年五月二十六日以来発生していないことから「交通事故抑止2176日達成」の式典を実施し、境川保育園児が無事故の願いを込めて「交通安全天下まで届け」と百個の風船を上げました。

石和町の菊島さと子さん(元は毎年、石和支部女性部が交通安全マスクコットを作り、道行くドライバーに安全運動に役立てて下さいと石和町に寄贈しました。石和町と安協員は、街頭指導所で「シートベルト着用」の短冊を交付、道行くドライバーに安全運転を呼び掛けました。

忠会長)は、高齢者の交通事故が多発していることから、山梨県農業大学校で「長坂交通安全弁論大会」を開催しました。

大会には、管内の七十二歳から九十歳の代表八人が参加し、交通安全についての体験や、交通規制の必要性と対策を求めるもの、交通事故防止

高齢者代表が
交通安全弁論
○・長 坂

には心が原点であると訴えるもの、年とともに身体機能が低下していることから、基本をしつかり身につけることが大切である、交通事故を起さないためには健康であることが必要であるなど、高齢者の交通事故防止や今後の施策に参考となる意見が発表されました。

マナー向上へ
女性6人委嘱
○・華 崎



交通安全をテーマに熱弁を振るう高齢者代表



華崎交通安全協会(深澤正)に委嘱しました。委嘱を受けたマナーアップブレディは一年間、各種交通安全活動に参画していただくとともに、各事業所で社員に対して交通安全を呼び掛けてもらいます。

また五月十二日、国道14号線の道の駅にらさきで、街頭指導所が開設され、チラシや交通安全マスクコットなどを配布して安全運転を呼び掛けました。

夕やみに光る「安協軍団」 信玄公祭りに「出陣」 反射材着用アピール

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反

射材着用を広く呼びかけました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。



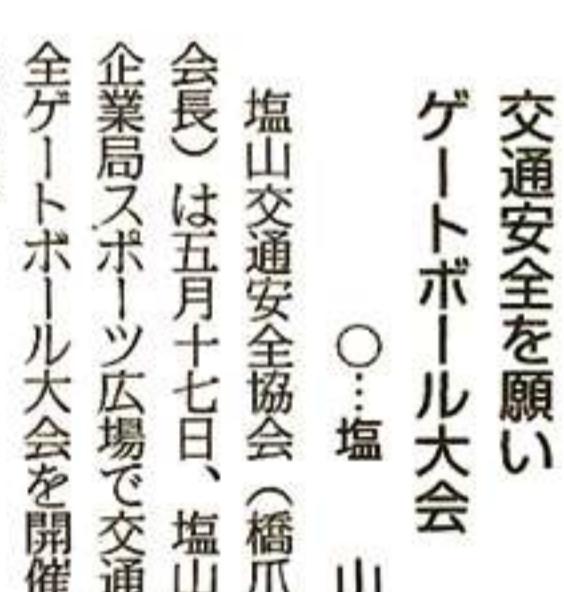
信玄公祭りの甲州軍団に参加し、反射材の使用と効果をアピールした県安協と甲府、南甲府の役員

平和通りを行進する一団は、スポットライトを浴びて反射ステッカーが光を放つ様子にあらためて反射材の効果を実感し、観客からは「反射材はよく光る物、夜間歩く時の必需品ですね」という感想が寄せられました。

軍団には甲府・南甲府安協の役員四十人が参加して本陣の仁科五郎盛信隊を編成。大将を県安協山下譲二副会長(南甲府安協会長)、副将を甲府北新支部の大野良平支部長が務め、団員全員がよろいやかぶなどに武田菱を形どった反射ステッカーを貼り、反射材の使用を呼び掛ける旗を携行するなど、反射材の活用と交通安全を強くアピールしました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。

牧丘町高齢者交通安全モデル地区結成大会
高齢者200人が
交通安全宣言
○・日下部高齢者の代表が交通安全宣言をし
た牧丘町
「高齢者交
通安全モデ
ル地区結成
大会」交通安全を願い
ゲートボール大会
○・塩 山

信玄公祭りの甲州軍団に参加し、反射材の使用と効果をアピールした県安協と甲府、南甲府の役員

平和通りを行進する一団は、スポットライトを浴びて反射ステッカーが光を放つ様子にあらためて反射材の効果を実感し、観客からは「反射材はよく光る物、夜間歩く時の必需品ですね」という感想が寄せられました。

軍団には甲府・南甲府安協の役員四十人が参加して本陣の仁科五郎盛信隊を編成。大将を県安協山下譲二副会長(南甲府安協会長)、副将を甲府北新支部の大野良平支部長が務め、団員全員がよろいやかぶなどに武田菱を形どった反射ステッカーを貼り、反射材の使用を呼び掛ける旗を携行するなど、反射材の活用と交通安全を強くアピールしました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。

山梨県交通安全協会・甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、四月五日に行われた「信玄公祭り・甲州軍団出陣」へ参加し、夜間の反射材着用を広く呼びかけました。

後、ゲートボール大会を行
い、塩山ゲートボール協会役
員から交通安全宣言がされま
した。
大会では、参加者全員に「交
通安全」を明記した参
加賞を贈
了。

引越のことなら
まずお電話を!
まかせて安心
ISO9002認証取得
松本引越センター関東甲信地区事業所
松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町西新居330-7



南甲府交通安全協会(山下
譲二会長)は、重点項目の一
つである「高齢者の歩行中、
自転車乗車中の交通事故防
止」を図るため、豊富村中央
公民館で高齢者交通安全教室
を開催しました。

相撲甚句で 交通安全PR

○…南甲府

教室では、甲州相撲甚句会
の佐藤勝氏ら五人が「高齢者
交通安全相撲甚句」を披露し
て交通事故防止を呼びかけま
した。また、県警さちかぜ号
による腹話術、手品などの後、
南甲府署の小林巡査部長のギ
ターライブに合わせ、「交通安全
思い出の歌」を参加者全員で
合唱して楽しいひとときを過
ぎました。

○…甲府
交通少年団員が
元気に安全の誓い

甲府交通安全協会(保坂輝
行会長)は、春の全国交通安
全教室を開催しました。



交通安全の誓いを読み上げる北新交
通少年団の児童たち

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車 教習所

富士吉田市新西原5-5-1
0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二(合宿施設有)

事故ゼロ願い多彩な催し

春の全国交通安全運動 地区安協の活動



交通安全フェアで行われたエアバッグの実験開催

上野原交通安全協会(和田
一&ファミリー交通安全フェ
博夫会長)は、五月十三日、

上野原自動車教習所でシルバ
ー＆ファミリー交通安全フェ
アを開催しました。
フェアでは管内交通関係団
体が協力して、老人クラブ員、
幼稚園・保育園児とその父母

エアバッグの実験を披露 上野原

高齢者交通安全教室と動体視
力検査、運転適性検査、子供
交通安全教室、チャイルドシ
ート着装指導コーナー、エア
バッグ実験などを体験しまし
た。



「チンドン屋」が交通安全パレードを先導

富士吉田交通安全協会(湯
山喜六会長)は、山中湖村の
山中東小学校と山中小学校で
児童に対する歩行者・自転車
教室を行いました。
一、二年生が歩行者教室、
三、六年生が自転車教室で、
歩行者教室では、模擬交差点

歩行と自転車 児童らが学ぶ ○…富士吉田



歩行の仕方を学ぶ児童

都留交通安全協会(石原滋
会長)は運動の初日、文大通
通りで管内交通関係機関・団体

ドライバー向けの 電柱幕で安全訴え ○…都留

安全を呼び掛けるため、シン
ボル旗を先頭に、トランペッ
ト鼓隊や都留二中ブラスバン
ド部のマーチング演奏にのり
ながら、総勢四百人が行進し
ました。



また、宝支部では、ドラライバー
は、ドライバーに安全を呼び掛ける
ため、コンピュータで作成した電柱
幕を管内の八ヶ所に設置しました。

「チンドン屋」も一役 大月

大月交通安全協会(山下道
男会長)は、交通安全運動を
市民に浸透させるため、日本
警察署の小林巡査部長のギ
ターライブに合わせ、「交通安全
思い出の歌」を参加者全員で
合唱して楽しいひとときを過
ぎました。

の伝統である「チンドン屋」
(東富士稲川地区ちんどん屋
愛好会)の先導で、安協役員
会による甲府市内を中心とし
て実施した後、山梨ハーレー
テックの交付、湖衣姫一日

や幼稚園児ら約五十人がパレ
ードを行い、交通安全を訴え
ました。昔なつかしいチンド
ンヤさんの扮装と笛、太鼓の
鳴り物でにぎやかな雰囲気を
演出。沿道の人たちも興味深
く見入っていました。

また、新たに市内七ヶ所に
交通安全啓蒙の電光表示板を
設置し、点灯式と併せて市内
の児童から募集した交通安全
標語優秀作の表彰を行い、そ
の標語を電光表示板で発表し

ました。

協会の交通ボランティア十二人が、高齢者向けの
り方を指導し、自転車教室で標語を受けたフラワーアレン
ジメントを作り、高齢者が多
く利用する施設へ寄贈しま
した。

春の交通安全運動 地区安協の活動

芦安新緑まつりで
交通安全をPR

○・小笠原
和久会長は、芦安地区新緑
まつりへ南アルプス市内外か

ら多くの人が集まるとか
ら、会場に交通安全コーナー
を設け反射材付きのバッグな
どの啓発用品や安協で作成し
たチラシを配布して交通事故
防止活動を行いました。

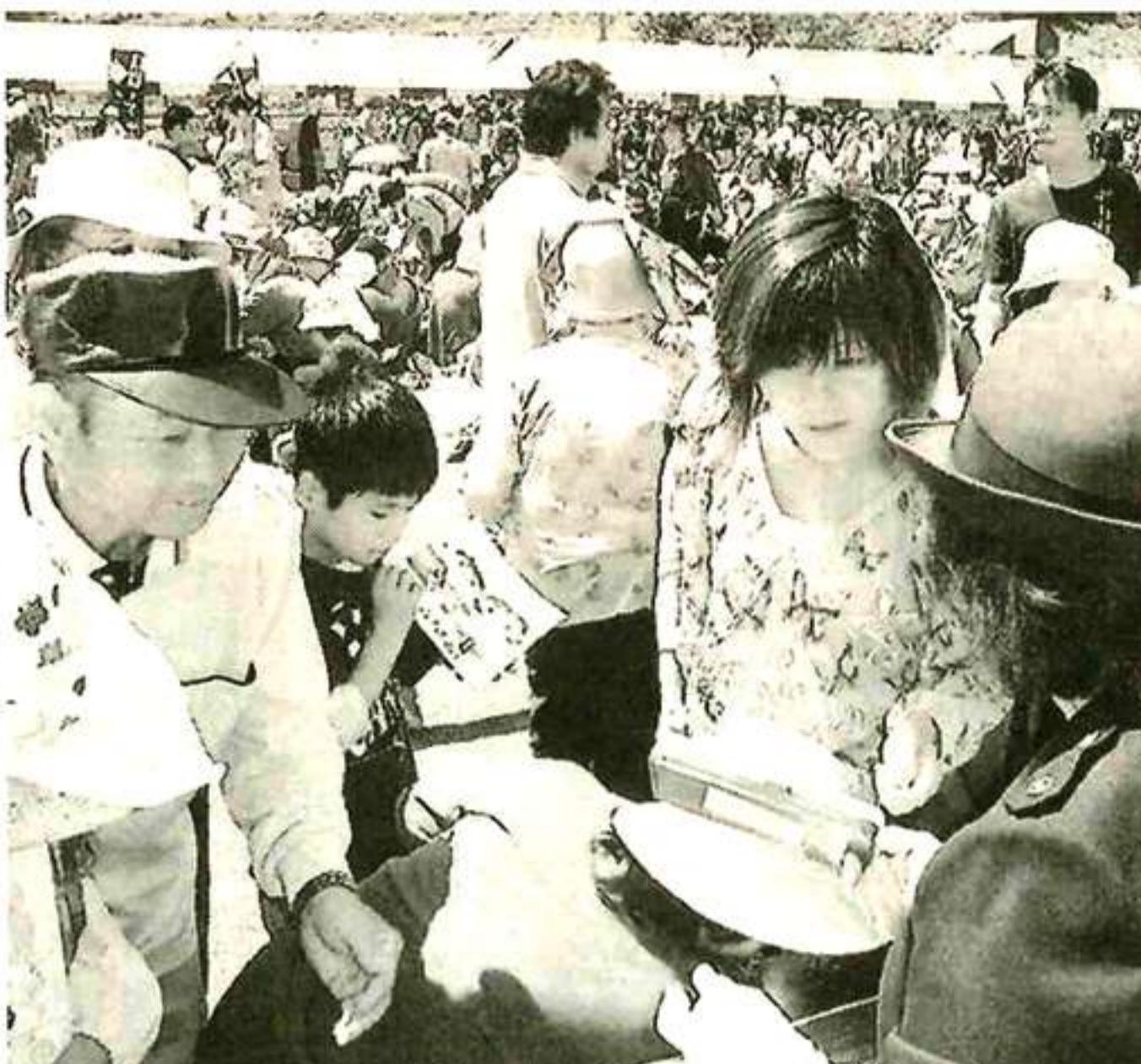
また、管内六カ所で「街頭

指導所」を開設して、各支部
で作成した千羽鶴、ピーブの
キーホルダーなどを配布して
交通安全を訴えました。

警察署屋上から

鰐沢交通安全協会(深沢豊
会長)は、交通安全の主張「私
も言いたい」と題する催しを

びました。
管内の交通関係団体や増穂
商高の交通ボランティアら約
百人が参加。代表者八人が「飲
酒運転やひき逃げは絶対に許
さない」と、交通安全に
関する主張を発表しました。



電動四輪車の乗り方を学ぶ高齢者

教習所開放日に
高齢者の交通教室

○・南部

南部交通安全協会(依田倉
藏会長)は、南部自動車教習
所の一日開放日に老人クラブ
を中心とした高齢者の参加を
募って高齢者教室を開催しま
した。

教室では、警察官による交
通講話、交通安全ビデオの上
映、運転適性検査器の体験、
応急救護法の実験を行いま
した。

また、万沢支部では、高齢
者交通安全川柳を募集して、
優秀作を書き込んだ看板を十
基製作し国道52号線沿いに設
置し、安全運転を呼び掛けま
した。

高齢者と子供に
講話や乗り物指導

○・市川

市川交通安全協会(八木吉
会)は、高齢者と子供に
講話や乗り物指導を行いました。

ファミリー作文を募集

内閣府と全日本交通安全協
会などは交通安全ファミリー

作文を募集します。詳細と応
募要領は次の通りです。

▽主催 内閣府、日本交通
福祉協会、全日本交通安全協
会ほか

・四百字詰め原稿用紙三枚
以内(なるべく直筆で)
・作文には題名を付け、①
応募区分②郵便番号・住所③
氏名(ふりがな)④年齢⑤職業
⑥電話番号⑦応募の動機
(例「やまなし交通安全情報
を見て」などを明記)

▽送り先 〒101-100
21 東京都千代田区外神田2
12-17 協同ビル(社)日本
交通福祉協議会交通安全作文
募集係 電子メールの場合
は、Microsoft Wordを使用し、一枚当たり
縦書き「二十字×二十行で作成
し、「jtw@kouttsukushi.or.jp(日本交通福祉協議会)」へ
送信

▽問い合わせ先 内閣府政
策統括官付 交通安全作文募
集係(電話) 03-3581
1182

安協から

芦安新緑まつりで交通安全をPR
暑さを感じる季節になりました。

私たち甲府交通安全協会は甲府
市の中北部・北部・西部と敷島町
の二十五支部・十二部会をもつて
構成され、甲府警察署をはじめ関
係団体と連携して交通事故防止に
努め、明るい住みよい町づくりに貢
献すべく活動しております。

交通事故の原因をみると、安全
不確認、わき見運転による事故が
多発しています。この状況から、当協会の
管内では交差点、交差点付近の事
件は、発生件数五百五十五件(昨
年同期比六十七件減)、死者数四人
(同二人増)、負傷者数六百六十九
人(同百八人減)と件数、負傷者
は昨年同期より減少しています。

このため当協会は、子どもと高
齢者の歩行中、自転車乗用中の交
通事故防止策として、▽高齢者安
全運動があります。

また、万沢支部では、高齢
者交通安全川柳を募集して、
優秀作を書き込んだ看板を十
基製作し国道52号線沿いに設
置し、安全運転を呼び掛けま
した。

交通安全思想の浸透図る

甲府安協会長 保坂 輝行



が、死者数は一人増加し、厳しい
交通事故の原因をみると、安全
不確認、わき見運転による事故が
多発しています。

この状況から、当協会の
管内では交差点、交差点付近の事
件は、発生件数五百五十五件(昨
年同期比六十七件減)、死者数四人
(同二人増)、負傷者数六百六十九
人(同百八人減)と件数、負傷者
は昨年同期より減少しています。

このため当協会は、子どもと高
齢者の歩行中、自転車乗用中の交
通事故防止策として、▽高齢者安
全運動があります。

また、万沢支部では、高齢
者交通安全川柳を募集して、
優秀作を書き込んだ看板を十
基製作し国道52号線沿いに設
置し、安全運転を呼び掛けま
した。

このため当協会は、子どもと高
齢者の歩行中、自転車乗用中の交
通事故防止策として、▽高齢者安
全運動があります。

また、万沢支部では、高齢
者交通安全川柳を募集して、
優秀作を書き込んだ看板を十
基製作し国道52号線沿いに設
置し、安全運転を呼び掛けま
した。

このため当協会は、子どもと高
齢者の歩行中、自転車乗用中の交
通事故防止策として、▽高齢者安
全運動があります。

地域の交通安全先導役に

県公安委 推進委員191人を委嘱



地域交通安全活動推進委員191人を委嘱
—甲府市・県自治会館

山梨県公安委員会と県警察
本部は四月三十日、甲府市の
県自治会館で本年度の地域交
通安全活動推進委員の委嘱式

するなか、代表の甲府地区の
安委員長から委嘱状が手渡さ
れました。

吉吳委員長は、「地域のリーダーとして違法駐車問題をはじめ交通事故の減少に皆様方の協力を期待しています。頑張ってください」と激励、続

いて金山泰介県警本部長が「地域における交通安全リーダーとして、道路交通の場で快適な道路環境づくりに尽力されるとともに、安心して暮らせる地域の実現に貢献していただけようお願いします」とあいさつしました。

県知事、県交通安全協会会長の祝辞に統じて、推進委員を代表して長坂地区の黒倉千草

手を受け、委嘱式を終わりました。その後、推進委員全員を対象に講習会を開き、県警察本部交通企画課長らが道路交通の現状や推進委員の活動要領などを説明しました。

推進委員は「委員としての自覚を新たに地域における交

通リーダーとしてモラルの向上に努め、安全な道路交通環境づくりに頑張りたい」と抱負を語っていました。

地域交通安全活動推進委員は次の通り。

▽甲府 太田源一郎、千野義文、鈴木光三、羽中田進、藤井治男、末木清次、鷹野和子、横田綾子、土屋誠一、望月郁雄、藤原静馬、近藤昭、保延公勝、山寺嘉一郎、小田切文藏、小林修、萩原一義、中村喜代孝、清水保男、柳本百合江、猪股みえ子、五味勇、生山今朝雄、石川能彦、山本義武、▽長坂 仁科幸男、山本重成、海野松雄、中山武徳、清水慶枝、黒倉千草、小原つや子、中澤右近、平井静子、清野利彦、▽鰐沢 石坂勲彦、望月鉄雄、田中勇夫、望月辰男、望月十四郎、功刀吉文、依田實、阿達三郎、遠藤正二郎、野田節美、斎藤三枝、望月淑子、▽南部 井上敬信、山本晴

（16歳以上人口は平成12年国勢調査値）

（人口～平成15年5月1日現在推計）

（人口～平成15年5月1日現在概算値）

</

